日本障害学会. 東京. 2013-09.

精神障害者による津波避難準備活動と地域との関係

北村弥生、小佐々典靖、我澤賢之（国立障害者リハビリテーションセンター）
河村宏（NPO支援技術開発機構）、池松麻穂（浦河べてるの家）、八巻千香子（国立がんセンター研究所）

目的:　災害時に適切な状況認知と行動判断をすることは精神障害者や知的障害者には困難であると考えられ、精神障害者施設や知的障害者施設では、利用者でなく職員の避難支援行動の訓練が行われてきた。精神障害者の災害時の困難としては、睡眠導入剤の影響で起きられずに避難できないこと、幻聴に避難を否定されて避難できないこと、平時から「緊急事態でパニックになるのではないかという不安」で生活に支障がでること、避難所で異質な行動をとる心配があることが挙げられている。

一方、当事者が主体となり、町役場、自治会および研究機関の協力を得て、地震による津波対策に重点をおいた避難訓練を企画・運営・発信している点で特異であることが知られている精神障害者の社会福祉法人がある。そこで、本研究では、法人職員、町役場、町内会のそれぞれの視点から、精神障害者の津波避難と準備状況について明らかにし、災害時避難を契機にした精神障害者の共生のあり方を考える。

対象:　べてるの家のソーシャルワーカー1名に対して防災活動の経験を、浦河町役場職員5名及び自治会長1名に対して防災活動及び「べてるの家」への意識を面接法により調査した。

北海道の南岸中央部、襟裳岬の南端近くに位置する浦河郡浦河町にある（社福）浦河べてるの家（以下、べてるの家）は、昭和59年に設立された精神障害者の地域活動拠点で、100名以上のメンバーが活動している。

結果:

1）災害時に、町役場は災害時要援護者名簿ではなく平時のサービス体系を活用した安否確認と事後の支援を実施した。べてるの家とも防災活動の事前協議により、災害時の連絡系統が確立していた。

2）地域活動に積極的な自治会は、防災活動をべてるの家と共同で行うことで具体的な協力関係が形成されていた。

3）「べてるの家」では、図上訓練を含む年に2回の避難訓練、防災ミーティング、マルチメディアマニュアルの使用により津波に対する避難目標「4分で10m登ること」を達成し、3つの地震で避難を実現した。しかし、「避難所での生活および災害に関わる不安」等の課題が残されていた。課題への対策として、当事者は避難所でのミーティングを、職員は宿泊施設を福祉避難所にすることを提案したが、町役場と自治会には課題は認識されていなかった。

考察:　10年に亘る防災活動でも残された課題はあったが、当事者組織の防災活動から、町役場と自治会による自然な協力が引き出されていた。残された課題の一つである「避難所での生活および災害に関わる不安」への対策案は立場により異なり、合意形成には、なお、時間を要することが示唆された。

表1　浦河町の人口、高齢者数、要援護者数

	数（人）	人口比(%)
人口（平成23年9月）	13,974	—
人口密度(人/km²)	19.7	—
後期高齢者数（人）	1,921	13.7
前期高齢者数	1,699	12.2
全要援護者数（人）	3,286	33.6
データ登録者数（人）	1,568	11.2
障害者数（人）	759	5.4

表2　浦河町の要援護者名簿登録数の内訳

	名簿（人）	データ登録（人）	登録比率(%)
視覚障害	51	身体障害 358	66.5
聴覚障害	42	—	—
肢体不自由	445	—	—
療育手帳	107	57	53.3
精神障害	114	64	56.1
難病指定	-	27	
要介護5	129	8	6.2
要介護4	90	6	6.7
要介護3	95	23	24.2
要介護2	130	46	35.4
要介護1	118	26	22.0
外国人	83		0.0
高齢者（75歳以上）	1,934	488	25.2
その他	—	465	
合計	3,383	1,568	

表3　データ未登録の理由

分類	人数	割合
データ登録者数	1,568	47.7
登録希望なし	1,028	31.3
死亡、入院、施設入所	401	12.2
住所別だが同居者（65歳以下）あり	199	6.1
未回収	90	2.7
合計	3,286	100.0

図1　浦河町の位置、地震の頻発地

図2　マルチメディアデイジー版避難マニュアル表示画面

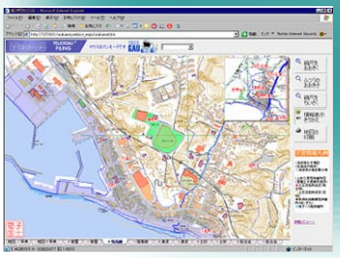

図3　平成18年までに作成した浦河町地理情報システム

図4　活動拠点の一つから避難所までの避難経路。災害時には、鉄道を横断して近道ができると避難時間が短縮できる箇所が見いだされた。

図5　避難訓練前のスタッフミーティング（当事者スタッフを含む）

図6　避難訓練前のミーティング（この日は、火災避難訓練で事業所の外に出た後に、引き続いて行う津波避難訓練の前ミーティングを行った）